

「ふくおか高校生知の創造塾」実施 この夏、高校生が現代社会の答えのない問題に挑んだ

2023年9月10日 九州版

カテゴリー：その他教育活動



今回参加した生徒たち

福岡県教育委員会

福岡県教育委員会では、今年も「九州大学との高大連携事業」の一環として「ふくおか高校生知の創造塾」を実施した。同取り組みは、九州大学の先生が進行役のファシリテーターとなり、県内の高校生が学校や学年の枠を超えて、答えのない問題について考え議論をかわし最適解を探す「課題解決型学習プログラム」である。

8月16日（水）から18日（金）までの2泊3日のスケジュールで、県立社会教育総合センターにて行われた。今年は4年ぶりに合宿形式での実施となり、県内45校の121名が参加した。

生徒たちは、3日間、テーマについて徹底的に考え抜き、議論を尽くし、答えを導き出す。

今年度から新たに1人1台端末を活用した取り組みを実施したところ、調査、意見の共有、プレゼンの準備など各場面で生徒たちが自発的に1人1台端末を活用する姿が見られた。

最終日にはそれぞれ発表を行い、お互いに共有し、更に考察を深め、主体的対話的で深い学びを体験する機会となったようである。テーマは、以下のような具体的なものを上げ、今日的な課題について考察を深めた。

メインテーマ

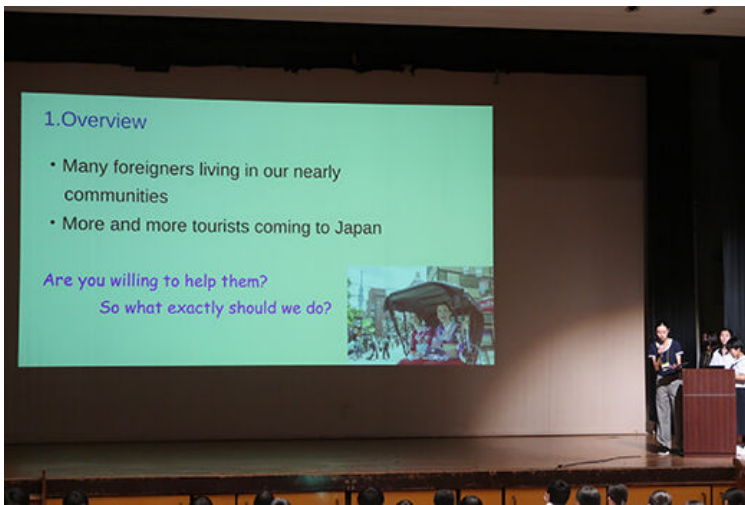
「学びの深化と知の創出一どのように学ぶか？」

サブテーマ

- ・よき有権者をどのように育成すべきか
- ・ポストコロナの働き方を考える
- ・バイオエシックス（生命倫理学）の視点からとらえる生死
- ・食糧生産と生物多様性について考える
- ・障がいをめぐる問題から誰もが生きやすい社会について考える
- ・ものごとを先延ばしにする「先延ばし癖」について考える
- ・Towards creating a resilient society from the disaster mitigation perspectives（英語で実施）
- ・Community Building and Global Citizenship Development（英語で実施）



タブレットを活用して、集中して議論する



英語で全体発表



熟考中の参加者